

一 般 質 問 総 括 表

(令和5年12月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
大場洋介	1	学びの保障と充実について	① 不登校児童・生徒への支援と課題は。 ② 学校給食無償化への思考の変化は。	
	2	地域社会のデジタル化について	① 自治体DX推進計画の現状と課題は。 ② 地域で有効活用されるデータのオープン化への所見は。	
宮林聡志	1	令和6年度当初予算編成について	① 当初予算編成にあたって各団体との意見交換を行うとのことであったが、意見交換を行った団体、出席者及び意見の内容は。 ② 団体からの意見についての対応、当初予算にどのように反映していくのか。また、現時点で予定している主な投資的事業について町長はどのように考えているか。 ③ 新型コロナ5類移行による地方創生臨時交付金、診療所への繰り出し金の見込み及びその他予防接種など影響を受けるものは何か。 ④ 各課からの予算要求も最終段階となっているが、現時点で令和6年度から3年間の介護保険料の見込みについて伺う。 ⑤ 国で経済対策のため、所得税、住民税減税を実施する予定であるが、町民税の減税による減収額の見込み及び令和6年度から森林環境税が賦課される。早めの周知が必要と思うが、周知方法について伺う。	
	2	消防団の組織強化について	少子高齢化、人口減少に伴い消防団員の減少が全国的な課題となっている。このようなことから消防力の強化を図るため最上管内でも機能別消防団員制度を導入している自治体がある。町として制度の導入、予算化についてどう考えているか。	

一 般 質 問 総 括 表

(令和5年12月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
須藤典夫	1	町制施行100周年記念に町の花や鳥を制定してはどうか	町のシンボルとなる「花鳥木」の制定は平成14年に町の木「金山杉・ぶな・やまぼうし」を決めた。町制施行100周年記念に花や鳥も検討してはどうか。	
	2	職員3組のプロジェクトチームの報告内容は	若手職員による今後の町づくりへの提言が報告されたが、その内容はどのようなものか。その対応は。	
中村忠行	1	高齢者の社会的孤立の解消策は	<p>① 高齢者でもネットや動画による交流・社会参加は効果的との見方があるが、タブレット端末等を活用した高齢者孤立対策は考えられないか。</p> <p>② 高齢者の社会的孤立には複数の要因が考えられるが、身体機能の衰えによって交流の場への参加が消極的になる傾向がある。支援策は考えられないか。</p>	
沼澤道也	1	これからの金山農業について	<p>① 今年の農産物の販売実績はどうなっているか。</p> <p>② 地域計画の策定の現状は。地域計画の策定の狙いは。策定の有無での規制はあるのか。策定の範囲（地域）とは。</p> <p>③ 地域計画策定の進め方をどう考えているのか。</p> <p>④ 地域計画策定とこれからの担い手対策と金山農業のこれからのどう考えているのか。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和5年12月議会定例会)

No.3

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
五十嵐優一	1	高齢者などの生活支援について	<p>誰もが住み慣れた地域で最後までいきいきと心豊かに暮らしていくためには、自助を基本としながら互助・共助・公助の順で取り組んでいくことが必要であると言われている。</p> <p>いま、住民も行政も一緒になった新しい地域づくりが始まっている中で、生活支援と社会参加の体制整備の推進が重要であると考えられる。</p> <p>そこで、次の3点について伺う。</p> <p>① 除雪支援について</p> <p>② 買い物支援について</p> <p>③ 居場所づくりについて</p>	
	2	環境負担の低減と貧困問題解決の連携について	<p>食品ロスを削減するためには、家庭で余っている食品を有効に活用していくことが必要であると考えている。仕組みとしては、学校や職場で集められた食べ物を地域の団体等が必要とする人々に届ける流れである。</p> <p>その活動強化に向け、食品の受入れ・提供を拡大するために必要な推進体制の整備が重要となる。</p> <p>そこで、次の2点について伺う。</p> <p>① フードドライブについて</p> <p>② フードバンク活動について</p>	
	3	県立新庄南高等学校金山校の支援について	<p>ある講演会に参加し、「持続可能な地域・社会をつくる若者が育つ教育環境の実現は、新たな人の流れが生まれる一助となる。」ということを学んだ。</p> <p>地域（町）の活性化を図るためには、金山校の魅力化を推進するとともに、町外生を受け入れる取り組み等の支援が必要であると考えられる。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 魅力化推進事業（地域みらい留学参画等）について</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和5年12月議会定例会)

No.4

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
星川智子	1	民間に委託した町事業の状況は	<p>現在大きい町事業として、第三セクターを除き、ふるさと納税をリンベル株式会社に、カムロキャンプ場を株式会社有屋建設に、マルコの蔵を一般社団法人SAI〜平和の文化〜に委託している。</p> <p>① 9月定例会の総務文教常任委員会の報告資料を見ると、寄付額が昨年度比較で現在98%と昨年度実績に達していない。これから新庄市と連携することが挙げられていたが、リンベルの新しい動きなどがあれば伺う。</p> <p>② キャンプ場の指定管理については、1年契約で今年4月から有屋建設が運営している。キャンプ場が今まで以上にマスコミに取り上げられ盛り上がりが見られる。グリーンバレーの方針が示されキャンプ場は民間企業による営業を継続すると決まったが、現業者と指定管理の契約期間は5年とするのか。</p> <p>③ 公民館大会ではサイヒロコ氏の講演を聞き、金山に各国大使を招きたい、サイ氏ゆかりの国と金山を繋ぎたいという提案があったことに期待をしている。しかし、キャンプ場に比べ目立ったマルコの蔵の変化というのは、これまであまり感じなかった。講演で提案されたような計画はあって、世界から金山に多くの人を訪れるのか。町のこれまでの評価はどうか。</p>	
	2	防災教育をキャンプ場で	<p>「キャンプ一回で子どもは変わる」という少年自然の家に勤める教員の記事を読んだ。価値を持った体験の提供について書いていた。わが町にはキャンプ場がある。前回スキー場があるならアルペンスキーを子どもたちに体験させてほしいと言ったが、キャンプ場があるならば是非子どもたちにキャンプを体験させたいと思う。</p> <p>有屋建設からキャンプは自然の中で不便を楽しむものだということで、それが災害発生後の避難生活に類似していることからキャンプは防災教育として有効だと聞いた。防災教育プログラムとして取り組んではどうか。</p>	